

アンナ・リサ・ドゥマギン・オラーリョ 研究員（フィリピン）



はじめまして。私はフィリピンのマリキナ市からきました、アンナ・リサ・ドゥマギン・オラーリョと申します。私はフィリピンの民間防衛室（OCD）で 12 年間勤め、現在は開発部署のチーフ代行を担当しています。この役職においては、OCD で取り扱う主な災害に関する業務報告書の作成支援を行っています。また自然災害のみならず、人的災害を含んだ情報を伝えるための報告書作成や、非常時にいて、OCD の地域事務所や地方政府に緊急通知を準備し報告する業務なども行っています。

OCD は国家災害リスク軽減・管理評議会（NDRRMC）の業務実施機関および事務局として運営されています。この NDRRMC は国家災害対策委員会（NDCC）と同等機関としても知られています。OCD での主たる役割は、緊急時における生命及び財産の保護を目的として活動する、様々な政府機関や代行機関、民間企業や市の組織などの活動支援を行うことです。また、NDRRMC の政策やプログラムの実施をモニタリングし、国家評議会へ報告等も行っています。さらに、OCD のミッションは、コミュニティにおける災害リスクの軽減を目的とした継続的開発における、包括的な民間防衛と支援に関連するプログラムを実施することです。

日本の災害リスクの軽減計画と実施プログラムは、他国の政府機関がどのようにして復興及び開発を実施するか、という観点において大変有効的です。これらのプログラムは、発展途中国において、それぞれの国の状況や現場に合わせて、適応及び実施可能なモデルとなっています。ADRC の客員研究員プログラムは、災害管理における研究を行う素晴らしい機会だと思います。私が本プログラムへの参加できたことは大変光栄です。滞在期間中は、日本及び ADRC のメンバー国で採用されている災害リスクの軽減と管理手法について、より多くを学びたいと思います。